
Print Status Notifier

ユーザーズガイド

目次

1 はじめに

- 1.1 動作環境 1-1
- 1.2 主な機能 1-3

2 Print Status Notifier のインストール

- 2.1 インストール方法 2-1
 - インストールの手順 2-1
- 2.2 アンインストール方法 2-1
 - アンインストールの手順 2-1

3 Print Status Notifier の使い方

- 3.1 起動と終了 3-1
 - 3.1.1 起動する 3-1
 - 3.1.2 終了する 3-1
 - 操作手順 3-1
- 3.2 メニューについて 3-2
- 3.3 ジョブ情報の通知の流れ 3-3
 - 3.3.1 PC ジョブの場合 3-3
 - ジョブ情報の通知の流れ 3-3
 - 3.3.2 本体ジョブ（ユーザー認証 ON）の場合 3-4
 - ジョブ情報の通知の流れ 3-4
 - 3.3.3 本体ジョブ（ユーザー認証 OFF）の場合 3-5
 - ジョブ情報の通知の流れ 3-5
- 3.4 設定の流れ 3-6
 - 操作手順 3-6
- 3.5 設定方法 3-7
 - 3.5.1 設定画面について 3-7
 - 監視装置設定画面 3-8
 - 登録済み装置の詳細画面 3-9
 - 通知設定画面 3-10
 - 3.5.2 監視装置の登録 3-11
 - 監視装置の登録ウィザードを使用しての登録方法 3-11

3.5.3	監視装置の削除	3-15
	操作手順	3-15
3.5.4	認証設定をする	3-16
	操作手順	3-16
3.5.5	通知方法を設定する	3-20
	操作手順	3-20
3.6	ジョブ情報の確認	3-22
3.6.1	ジョブ情報を見る	3-22
	ジョブが正常に終了したときの画面	3-24
	ジョブが停止したときの画面	3-24
	ジョブが異常終了したときの画面	3-25
3.6.2	ジョブ一覧を見る	3-25
	監視中ジョブ一覧タブ	3-27
	ジョブ履歴タブ	3-27
3.7	装置状態の確認	3-28
3.8	手動でのジョブ情報の確認	3-30
3.8.1	監視を開始する	3-30
	操作手順	3-30
3.9	Web Connection の表示	3-32
	メニューで登録装置名をクリックする	3-32
	ジョブ情報画面で装置名をクリックする	3-33
	装置状態画面で装置をクリックする	3-34

4 こんなときは

本製品について

Print Status Notifier は、タスクトレイに常駐し、装置（プリンター・複合機）で実行されるプリント、ファクスなどのジョブを監視することによって、ジョブの状態（ジョブ情報）をユーザーに通知するアプリケーションです。

Print Status Notifier では、コンピューターから実行指示をしたジョブ（PC ジョブ）だけでなく、装置のオペレーションパネルで実行指示をしたジョブ（本体ジョブ）を監視できます。

登録商標および商標

商標について

Microsoft®、Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

画面について

装置や設定および使用するコンピューターによって、本書に記載されている画面の内容と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。



ご注意

本書の一部またはすべての内容を、無断で複製したり、他言語に翻訳したり、引用したりすることは、固くお断りします。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

1 はじめに

1.1 動作環境

Print Status Notifier の動作環境は、以下のとおりです。

対応 OS	・ Windows Vista Home Basic (SP2 以降)* ・ Windows Vista Home Premium (SP2 以降)* ・ Windows Vista Business (SP2 以降)* ・ Windows Vista Enterprise (SP2 以降)* ・ Windows Vista Ultimate (SP2 以降)* ・ Windows Server 2008 Standard (SP2 以降)* ・ Windows Server 2008 Standard without Hyper-V (SP2 以降)* ・ Windows Server 2008 Enterprise (SP2 以降)* ・ Windows Server 2008 Enterprise without Hyper-V (SP2 以降)* ・ Windows 7 Home Basic (SP1 以降) ・ Windows 7 Home Premium (SP1 以降)* ・ Windows 7 Professional (SP1 以降)* ・ Windows 7 Enterprise (SP1 以降)* ・ Windows 7 Ultimate (SP1 以降)* ・ Windows 8.1* ・ Windows 8.1 Pro* ・ Windows 8.1 Enterprise* ・ Windows Server 2008 R2 Standard (SP1 以降) ・ Windows Server 2008 R2 Enterprise (SP1 以降) ・ Windows Server 2012 Standard ・ Windows Server 2012 R2 Standard ・ Windows 10 Home* ・ Windows 10 Pro* ・ Windows 10 Enterprise* ・ Windows 10 Education* * 32 ビット (x86) / 64 ビット (x64) 環境に対応。
使用プロトコル	・ TCP/IP ・ HTTP ・ HTTPS ・ SNMPv1

その他	Microsoft .NET Framework: 以下のバージョンが両方とも必要です。 ・ .NET Framework 3.5 (SP1 以降) ・ .NET Framework 4.5 以降 *Windows 8.1、Windows 10、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 をお使いの場合は、以下の手順に従って、.NET Framework 3.5 を別途インストールしてください。 ・ Windows 8.1/Windows 10 の場合 1. [コントロールパネル] を開き、[プログラム] - [プログラムと機能] - [Windows の機能の有効化または無効化] をクリックします。 2. [.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)] にチェックを付け、[OK] をクリックします。 3. OS の指示に従ってインストールを完了します。 ・ Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 1. 「サーバーマネージャー」の「ダッシュボード」から[役割と機能の追加] をクリックして、「役割と機能の追加ウィザード」を起動します。 2. 「開始する前に」画面で、[次へ] をクリックします。 3. 「インストールの種類の選択」画面で、「役割ベースまたは機能ベースのインストール」を選択して、[次へ] をクリックします。 4. 「対象サーバーの選択」画面で、インストールするサーバーを選択して、[次へ] をクリックします。 5. 「サーバーの役割の選択」画面で、[次へ] をクリックします。 6. 「機能の選択」画面で、[.NET Framework 3.5 Features] にチェックを付け、[次へ] をクリックします。 7. 「インストールオプションの確認」画面で、[必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する] にチェックを付け、[インストール] をクリックします。 8. インストールが完了した後、サーバーが自動的に再起動します。 OpenAPI 設定がある装置において、以下の設定が有効になっていること ・ OpenAPI 設定 ・ http サーバー設定
-----	--

最新の動作環境については Readme を参照してください。

1.2 主な機能

Print Status Notifier の主な機能は、以下のとおりです。

- ジョブ情報の通知
プリントなどのジョブを監視し、そのジョブの状態に変化があると、ジョブの状態を含むジョブ情報が Print Status Notifier に通知されます。
- 監視できるジョブには、以下の 2 種類があります。
 - PC ジョブ
コンピューターから実行の指示を出したジョブ
 - 本体ジョブ
装置のオペレーションパネルで実行の指示を出したジョブ
- ジョブ履歴の表示
監視の対象にしているジョブの履歴を確認できます。
- ジョブ監視の自動再開
監視中のジョブがある状態で Print Status Notifier を終了しても、Print Status Notifier 再起動時には、中断していたジョブの監視が自動で再開されます。
- 装置ステータスの表示
Print Status Notifier に登録されている装置の状態を確認できます。
- Web Connection へのリンク
装置に内蔵されている Web ページ (Web Connection) を表示させることができます。
- ジョブの削除
監視対象装置で実行中のジョブを削除できます。(ジョブ削除機能対応装置の場合のみ)

2 Print Status Notifier のインストール

2.1 インストール方法

お使いのコンピュータに Print Status Notifier をインストールします。



ご注意

インストールするときは、Windows の管理者権限で行う必要があります。

起動しているアプリケーション（ウイルスチェックプログラムを含む）がある場合は、すべて終了しておきます。

インストールの手順

- 1 インストールプログラムを起動します（Setup.exe）。
- 2 画面の指示にしたがって、インストールを進めます。

2.2 アンインストール方法

アンインストールの手順

Print Status Notifier を使用しなくなった場合は、コンピュータから Print Status Notifier をアンインストールします。

- 1 Print Status Notifier のプログラムを終了します。
 - プログラムの終了については、「終了する」(p. 3-1) をごらんください。
- 2 「プログラムの追加と削除」を使用して、アンインストールを行います。

3 Print Status Notifier の使い方

3.1 起動と終了

3.1.1 起動する

「スタート」メニューから「Print Status Notifier」を選択します。

3.1.2 終了する

ジョブの監視を終了させるときは、以下の手順で Print Status Notifier のプログラムを終了させます。

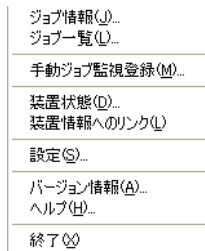
操作手順

- 1 タスクトレイの Print Status Notifier のアイコンを右クリックします。



メニューが表示されます。

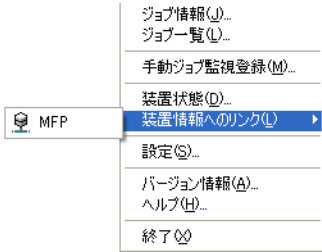
- 2 「終了」を選択します。



Print Status Notifier のプログラムが終了します。

3.2 メニューについて

タスクトレイに常駐している Print Status Notifier のアイコンを右クリックすると、メニューが表示されます。



メニュー	説明
ジョブ情報	ジョブ情報画面が表示され、ジョブ情報（ジョブの状態やジョブの種類など）を確認できます。 → 「ジョブ情報の確認」(p. 3-22)
ジョブ一覧	ジョブ一覧画面が表示され、監視対象装置で実行中のジョブ一覧と、ジョブの履歴を確認できます。
手動ジョブ監視登録	手動でジョブの監視を始める画面が表示され、監視したい本体ジョブを指定できます。 → 「監視を開始する」(p. 3-30)
装置状態	装置ステータス画面が表示され、装置の状態が確認できます。 → 「装置状態の確認」(p. 3-28)
装置情報へのリンク	登録されている装置の名称が表示されます。 選択すると、選択した装置に内蔵されている Web ページが表示され、装置の詳細情報を確認できます。 → 「Web Connection の表示」(p. 3-32)
設定	設定画面が表示され、装置の追加／削除や、通知方法の設定ができます。 → 「設定方法」(p. 3-7)
バージョン情報	バージョン情報画面が表示されます。
ヘルプ	オンラインヘルプが表示されます。
終了	Print Status Notifier を終了します。 → 「終了する」(p. 3-1)

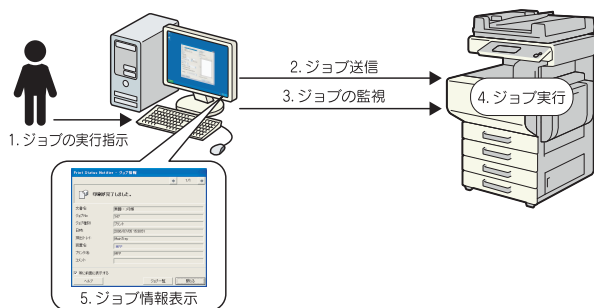
3.3 ジョブ情報の通知の流れ

ここでは、監視の対象にしているジョブ（PC ジョブ・本体ジョブ）ごとに、ユーザーが実行指示したジョブがどのように処理され、ジョブ情報がどのようにユーザーに通知されるかについて説明します。

本体ジョブについては、装置側のユーザー認証の設定によって、ジョブ情報の通知の流れが異なります。装置側でユーザー認証が ON に設定されている場合と、OFF に設定されている場合とに分けて説明します。

→ 装置側のユーザー認証の設定については、装置のユーザーズガイドをご覧ください。

3.3.1 PC ジョブの場合



ジョブ情報の通知の流れ

- 1 ユーザーは、コンピューターでプリントなどのジョブの実行を指示します。
- 2 プリンタードライバーによって、ジョブが装置に送られます。
- 3 Print Status Notifier によって、ジョブが監視されます。
- 4 装置でジョブが実行されます。
- 5 監視しているジョブに変化があった場合、ユーザーは、ポップアップ表示などでジョブ情報を確認できます。

3.3.2 本体ジョブ（ユーザー認証 ON）の場合

装置側でユーザー認証が ON に設定されていると、装置のオペレーションパネル上で実行指示したジョブの情報が自動的に Print Status Notifier に通知されるようになります。

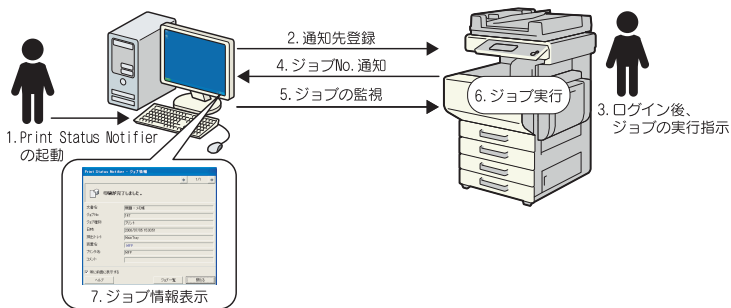


ご注意

装置側で部門認証のみを設定していても、ジョブ情報は自動的に通知されません。ユーザー認証を設定しないと、ジョブ情報は自動的に通知されません。

パブリックユーザーで実行したジョブのジョブ情報は、自動的に通知されません。手動でのジョブ監視が必要になります。

→ パブリックユーザーについては、装置のユーザーズガイドをごらんください。



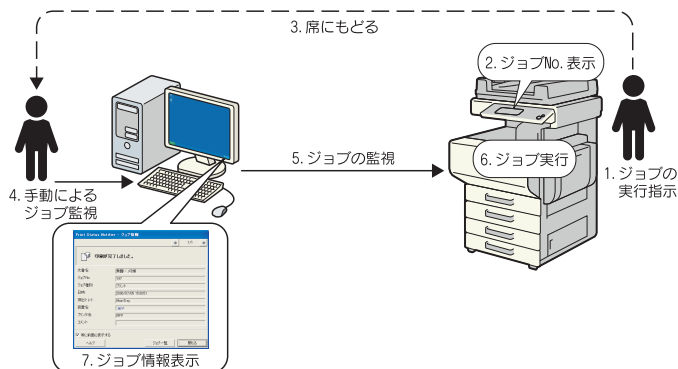
ジョブ情報の通知の流れ

- 1 ユーザーは、Print Status Notifier を起動します。
- 2 Print Status Notifier によって、ジョブ情報を通知する通知先が、装置に登録されます。
- 3 ユーザーは、装置のオペレーションパネルでログイン（ユーザー認証）後、ジョブの実行を指示します。
- 4 登録されている通知先に、実行の指示をしたジョブのジョブ No. が通知されます。
- 5 Print Status Notifier によって、ジョブが監視されます。
- 6 装置でジョブが実行されます。

- 7 監視しているジョブに変化があった場合、ユーザーは、ポップアップ表示などでジョブ情報を確認できます。

3.3.3 本体ジョブ（ユーザー認証 OFF）の場合

装置側でユーザー認証が OFF に設定されている場合は、手動でジョブを監視する必要があります。



ジョブ情報の通知の流れ

- 1 ユーザーは、装置のオペレーションパネルでジョブの実行を指示します。
- 2 オペレーションパネルに、実行の指示をしたジョブのジョブ No. が表示されます。
- 3 表示されたジョブ No. を記憶またはメモに書留めて、Print Status Notifier がインストールされている席にもどります。
- 4 ユーザーは、記憶したジョブ No. をもとに、手動によるジョブの監視を開始します。
- 5 Print Status Notifier によって、ジョブが監視されます。
- 6 装置でジョブが実行されます。
- 7 監視しているジョブに変化があった場合、ユーザーは、ポップアップ表示などでジョブ情報を確認できます。

3.4 設定の流れ

装置でのジョブ情報がユーザーに通知されるためには、以下の設定が必要です。

操作手順

- 1 監視の対象にする装置が登録されていることを確認します。
 - 登録されていない場合は、監視の対象にする装置を登録します。
→ 「監視装置の登録」(p. 3-11)
- 2 ジョブ情報の通知方法を設定します。
 - → 「通知方法を設定する」(p. 3-20)



ご注意

装置側でユーザー認証が ON に設定されている場合は、装置にログインするための認証設定を行う必要があります。

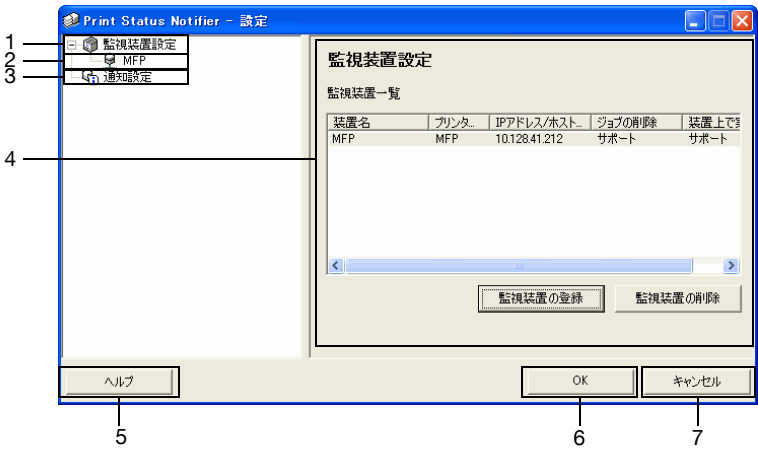
→ 「認証設定をする」(p. 3-16)

3.5 設定方法

3.5.1 設定画面について

タスクトレイに常駐している Print Status Notifier のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「設定」を選択すると、設定画面が表示されます。

ジョブ情報(J)...
ジョブ一覧(L)...
手動ジョブ監視登録(M)...
装置状態(D)...
装置情報へのリンク(L)
設定(S)...
バージョン情報(A)...
ヘルプ(H)...
終了(X)



No.	名称	説明
1	監視装置設定	選択すると、監視装置として設定されている装置の一覧が、画面右側に表示されます。 監視の対象として登録されている装置の確認や、監視対象装置の追加、削除を行います。 →「監視装置設定画面」(p. 3-8) マウスで右クリックするとメニューが表示され、監視装置を登録または削除が行えます。

No.	名称	説明
2	登録済みの装置	監視装置として設定されている装置を表示します。 選択すると、装置の詳しい情報が表示されます。 →「登録済み装置の詳細画面」(p. 3-9)
3	通知設定	選択すると、ジョブ情報の通知設定を行う画面が、画面右側に表示されます。 →「通知設定画面」(p. 3-10)
4	設定画面	画面左で選択した設定項目の内容が表示されます。
5	〔ヘルプ〕 ボタン	オンラインヘルプが表示されます。
6	〔OK〕 ボタン	変更した設定内容を反映し、設定画面を閉じます。
7	〔キャンセル〕 ボタン	変更した設定内容をキャンセルし、画面を閉じます。

監視装置設定画面



No.	名称	説明
1	監視装置一覧	監視装置として設定されている装置の一覧が表示されます。
	装置名	装置の名称が表示されます。
	プリンター名	OS に登録されている、装置のプリンター名が表示されます。
	IP アドレス / ホスト名	装置の IP アドレスまたはホスト名が表示されます。
	ジョブの削除	装置がジョブ削除機能をサポートしていれば、「サポート」と表示されます。
	装置で実行したジョブの監視	装置が本体ジョブ通知機能をサポートしていれば、「サポート」と表示されます。
2	〔監視装置の登録〕 ボタン	ウィザードが起動し、監視装置を登録します。 →「監視装置の登録」(p. 3-11)

No.	名称	説明
3	「監視装置の削除」ボタン	監視装置一覧から、装置を削除します。

登録済み装置の詳細画面

監視装置設定

MFP

通知設定

MFP

装置名

MFP

プリンター名

MFP

モデル名

MFP

IP アドレス/ホスト名

10128.41.212

ジョブの削除

サポート

装置上で実行したジョブの監視

サポート

コメント

☒ 装置上で実行したジョブ（コピー、ファックスなど）を監視する

認証設定

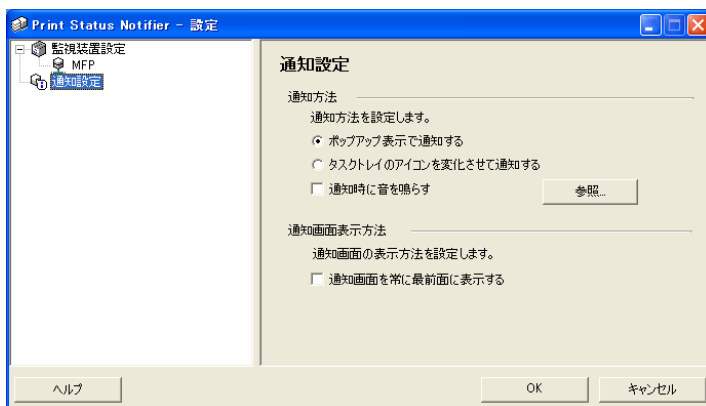
ヘルプ

OK

キャンセル

名称	説明
装置名	装置の名前が表示されます。
プリンター名	OS に登録されている、装置のプリンター名が表示されます。 →「監視装置の登録」(p. 3-11)
モデル名	装置のモデル名が表示されます。
IP アドレス / ホスト名	装置の IP アドレスまたはホスト名が表示されます。
ジョブの削除	アプリケーションからのジョブの削除が可能な装置は、「サポート」と表示されます。
装置で実行したジョブの監視	装置で実行したジョブの監視が可能な装置は、「サポート」と表示されます。
コメント	コメントを設定できます。
「装置で実行したジョブ（コピー、FAX など）を監視する」チェックボックス	装置で実行したジョブを通知の対象にする場合に選択します。 装置が本体ジョブ通知機能をサポートしている場合にのみ表示されます。
「認証設定」ボタン	認証設定画面が表示され、認証 / 部門管理 / OpenAPI の設定が行えます。 認証情報が必要な装置のみ表示されます。

通知設定画面



通知設定画面では、装置から通知されるジョブ情報の通知方法を設定します。

詳しくは、「通知方法を設定する」(p. 3-20) をご覧ください。

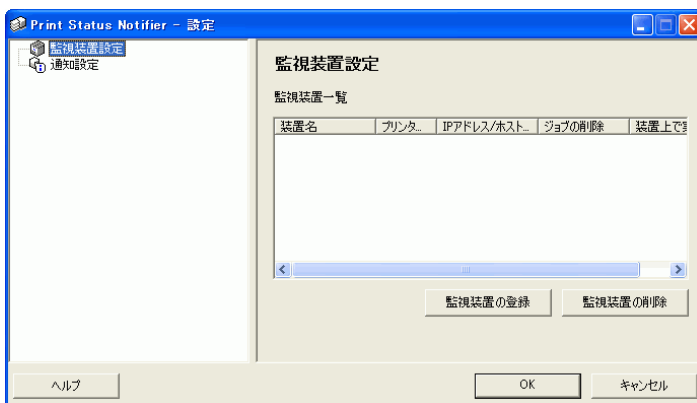
3.5.2 監視装置の登録

装置のジョブ情報がユーザーに通知されるためには、監視の対象にする装置が監視装置一覧に登録されている必要があります。

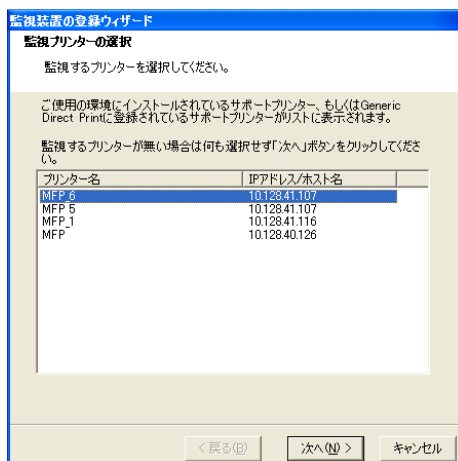
ここでは、監視装置の登録ウィザードを使用して装置を登録する方法を説明します。

監視装置の登録ウィザードを使用しての登録方法

- 1 監視装置設定画面で、[監視装置の登録] ボタンをクリックします。
 - 監視装置設定画面の表示のしかたについては、「設定画面について」をごらんください。



監視装置の登録ウィザードが起動します。



2 監視するプリンターを選択します。

- リストには、監視可能なプリンターが表示されます。監視するプリンターがリストになれば、何も選択せずに [次へ] ボタンをクリックします。何も選択しない場合は、装置上で実行したジョブのみ監視可能です。

3 [次へ] ボタンをクリックします。

以下の画面が表示されます。

4 装置の IP アドレスまたはホスト名を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

以下の画面が表示され、装置との接続が開始されます。

装置との接続が確認されると、以下の画面が表示されます。この画面は、認証情報の設定が必要な装置の場合にのみ表示されます。

5 装置に接続するための認証情報を設定し、[次へ] ボタンをクリックします。

- 認証設定、部門管理設定については、「認証設定をする」をごらんください。

以下の画面が表示されます。

- 6 装置の登録名を設定し、[次へ] ボタンをクリックします。
以下の画面が表示されます。

監視装置の登録ウィザード

設定情報の確認

設定情報を確認してください

設定情報を確認してください。確認してください。

装置名: MFP

プリンター名: MFP

モデル名: MFP

IPアドレス/ホスト名: 10.128.40.126

ジョブの削除: サポート

装置で実行したジョブの監視: サポート

装置の補足説明を設定することができます。登録後に設定することも可能です。

コメント:

< 戻る(B) > 次へ(N) > キャンセル

- 7 登録する装置の情報を確認し、[次へ] ボタンをクリックします。
- 装置の補足情報を入力することができます。
- 以下の画面が表示されます。

監視装置の登録ウィザード

監視装置の登録完了

監視装置の登録が完了しました。

装置の登録が完了しました

装置名: MFP

プリンター名: MFP

モデル名: MFP

IPアドレス/ホスト名: 10.128.40.126

ジョブの削除: サポート

装置で実行したジョブの監視: サポート

☒ 装置上で実行したジョブ(コピー、ファックスなど)を監視する

ユーザー認証が無効になっている、もしくはPublicユーザーの場合、手動で監視するジョブを登録する必要があります。手動で登録する方法についてはヘルプを参照してください。

< 戻る(B) > 完了 キャンセル

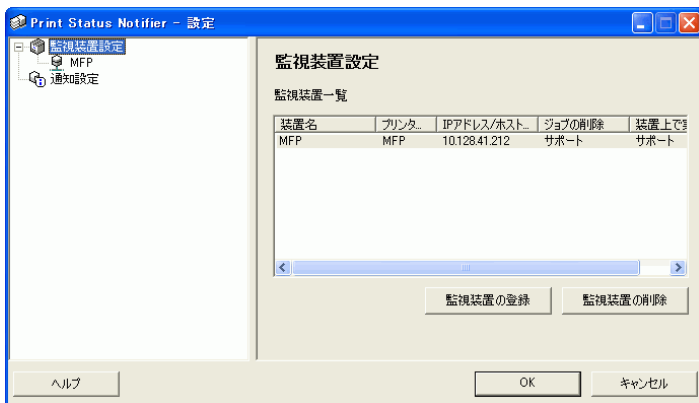
- 8 [完了] ボタンをクリックします。
- 本体ジョブからの通知を有効にするには、「装置上で実行したジョブ(コピー、ファックスなど)を監視する」にチェックを入れます。
- 監視装置の登録ウィザードが終了します。

3.5.3 監視装置の削除

装置を監視の対象から外します。

操作手順

- 1 監視装置設定画面で、削除する装置を選択します。
 - 監視装置設定画面の表示のしかたについては、「設定画面について」(p. 3-7) をご覧ください。



- 2 「監視装置の削除」 ボタンをクリックします。

削除を実行してもよいか確認するメッセージが表示されます。
- 3 「はい」 ボタンをクリックします。

選択した装置が削除されます。

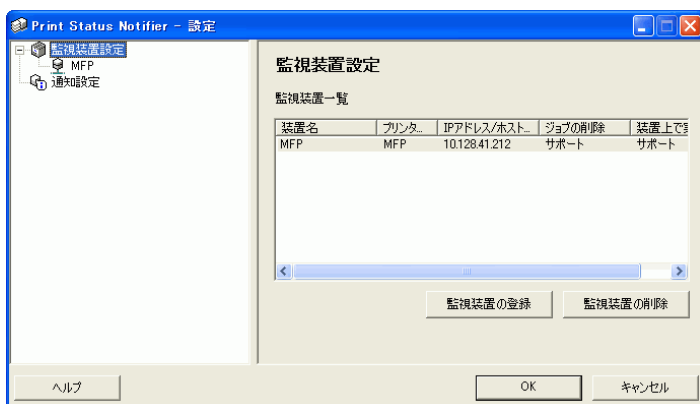
3.5.4 認証設定をする

監視の対象にしている装置側でユーザー認証が ON に設定されている場合は、装置にログインするための認証設定を行う必要があります。

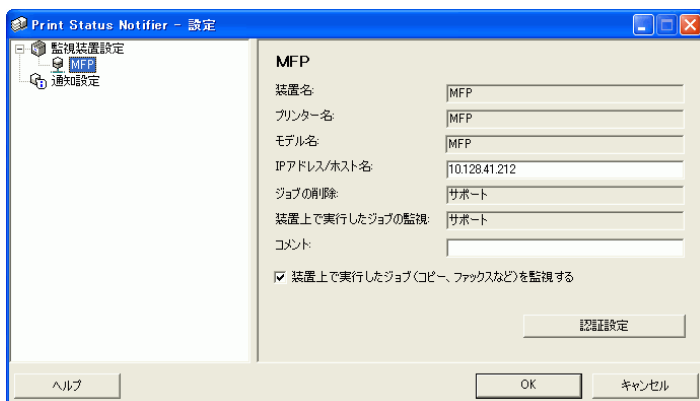
通常は監視装置の登録時に必要な認証設定を行うため、認証設定の変更は必要ありません。監視装置の登録後、認証設定の変更が必要になった場合にのみ、設定の変更を行ってください。

操作手順

- 1 設定画面を表示します。
 - 設定画面の表示のしかたについては、「設定画面について」(p. 3-7) をご覧ください。



- 2 設定したい装置を選択します。



- 3 [認証設定] ボタンをクリックします。
認証設定画面が表示されます。

認証設定

ユーザー認証/部門管理 | OpenAPI 認証

☐ ユーザー認証

☐ Public ユーザー

☒ 登録ユーザー

ユーザー名:

パスワード:

ドメイン名:

☐ 部門管理

部門名:

パスワード:

☐ 認証情報を保存する

※注意※設定情報を保存しない場合、アプリケーション終了時に設定情報が破棄されます。次回アプリケーション起動時に認証情報が要求されます。

ヘルプ OK キャンセル

- 4 「ユーザー認証／部門管理」タブを選択します。
- 5 ユーザー認証設定を行います。「ユーザー認証」にチェックを入れ、ユーザー名、パスワードを入力します。

認証設定

ユーザー認証/部門管理 | OpenAPI 認証

☒ ユーザー認証

☐ Public ユーザー

☒ 登録ユーザー

ユーザー名:

パスワード:

ドメイン名:

☐ 部門管理

部門名:

パスワード:

☐ 認証情報を保存する

※注意※設定情報を保存しない場合、アプリケーション終了時に設定情報が破棄されます。次回アプリケーション起動時に認証情報が要求されます。

ヘルプ OK キャンセル

- 認証に外部サーバーを使用するように装置が設定されている場合は、認証に使用する外部サーバーを「ドメイン名」から選択してください。

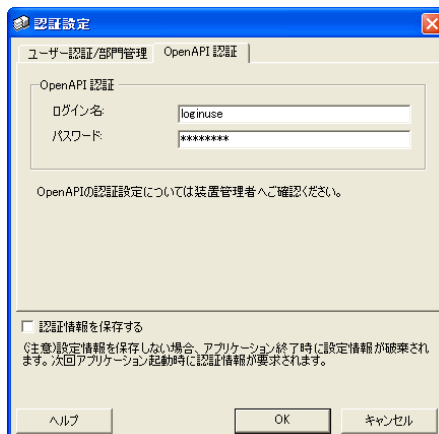
- 6 続いて、部門管理の設定を行います。「部門管理」にチェックを入れ、部門名、パスワードを入力します。

The screenshot shows the '認証設定' (Authentication Settings) dialog box with the '部門管理' (Department Management) tab selected. The 'ユーザー認証' (User Authentication) section is checked, and the '登録ユーザー' (Registered User) radio button is selected. The 'ユーザー名' (Username) field contains 'user1', the 'パスワード' (Password) field contains '*****', and the 'ドメイン名' (Domain Name) field is empty. The '部門管理' (Department Management) section is also checked, with the '部門名' (Department Name) field containing 'writers' and the 'パスワード' (Password) field containing '*****'. At the bottom, there is a checkbox for '認証情報を保存する' (Save authentication information) which is unchecked, followed by a warning message: '（注意）設定情報を保存しない場合、アプリケーション終了時に設定情報が破棄されます。次回アプリケーション起動時に認証情報が要求されます。' (Note: If you do not save the setting information, the setting information will be deleted when the application ends. Authentication information will be required when the application starts next time.). There are 'ヘルプ' (Help), 'OK', and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom.

- 7 設定した認証情報を確認します。
- 設定した認証情報をコンピューターに保存する場合は、「認証情報を保存する」にチェックを入れます。
- 8 OpenAPI の設定を行います。「OpenAPI 認証」タブを選択します。
- 以下の画面が表示されます。

The screenshot shows the '認証設定' (Authentication Settings) dialog box with the 'OpenAPI 認証' (OpenAPI Authentication) tab selected. The 'OpenAPI 認証' (OpenAPI Authentication) section is visible, with the 'ログイン名' (Login Name) field empty and the 'パスワード' (Password) field empty. Below this, there is a message: 'OpenAPIの認証設定については装置管理者へご確認ください。' (For OpenAPI authentication settings, please check with the device administrator.). At the bottom, there is a checkbox for '認証情報を保存する' (Save authentication information) which is unchecked, followed by the same warning message as in the previous screenshot. There are 'ヘルプ' (Help), 'OK', and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom.

9 ログイン名、パスワードを入力します。



10 [OK] ボタンをクリックします。

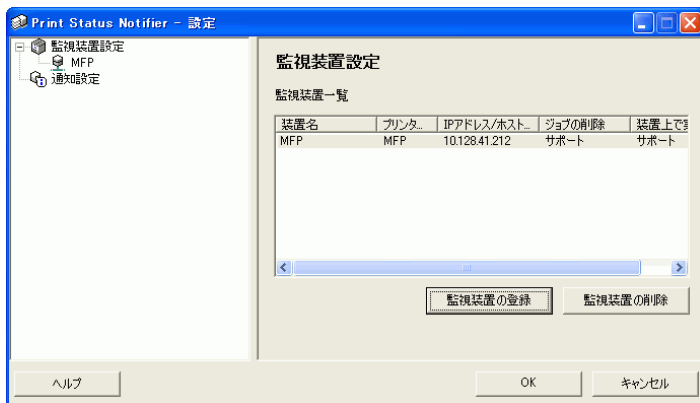
設定が反映され、設定画面が閉じます。
これで、認証設定ができました。

3.5.5 通知方法を設定する

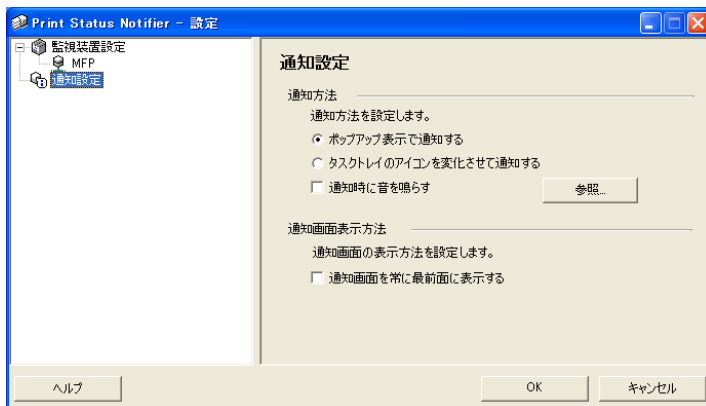
ジョブ情報を通知する方法を設定します。

操作手順

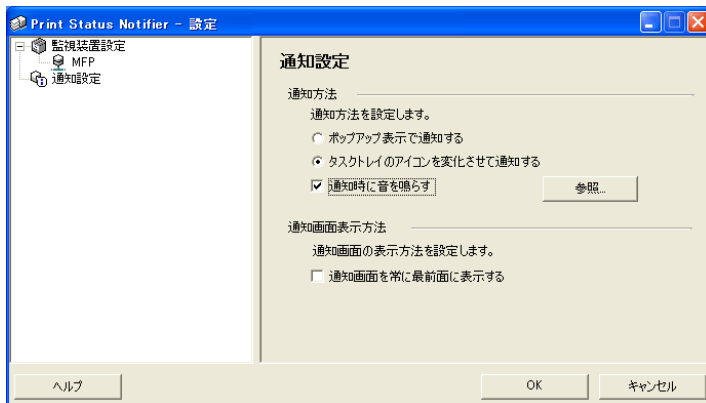
- 1 通知設定画面を表示します。
 - 通知設定画面の表示のしかたについては、「設定画面について」(p. 3-7) をご覧ください。



- 2 「通知設定」を選択します。
「通知設定」画面が表示されます。



3 通知方法を設定します。



- 通知方法は、「ポップアップ表示で通知する」「タスクトレイのアイコンを変化させて通知する」から選択できます。
- 「タスクトレイのアイコンを変化させて通知する」を選択した場合は、監視している装置の状態に応じて、タスクトレイのアイコンが変化し、点滅して通知されます。
(正常終了時、 停止時、 異常終了時)
- 「通知時に音を鳴らす」を選択した場合は、[参照] ボタンをクリックして、通知時に鳴らす音ファイルを選択してください。選択できる音ファイルは、wav ファイルだけです。
- 「ポップアップ表示で通知する」と「タスクトレイのアイコンを変化させて通知する」は、同時に選択できません。

4 [OK] ボタンをクリックします。

設定が反映され、設定画面が閉じます。
これで、通知方法の設定ができました。

3.6 ジョブ情報の確認

ここでは、ジョブの情報を確認する方法について説明します。

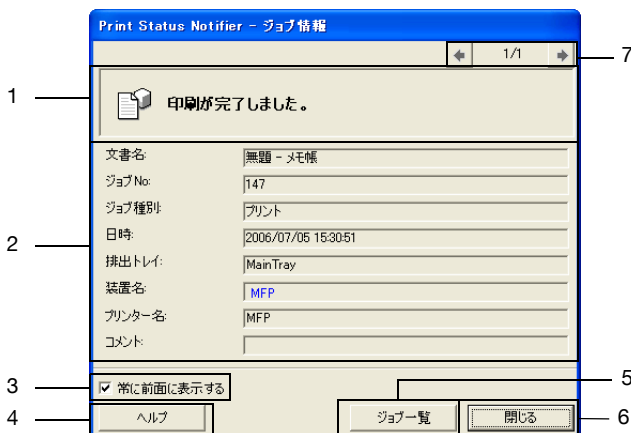
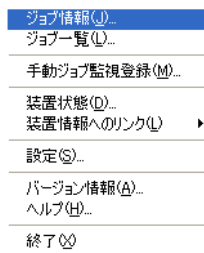
3.6.1 ジョブ情報を見る

装置から通知されるジョブ情報は、ジョブ情報画面で確認できます。

ジョブ情報の通知方法をポップアップ表示に設定している場合は、監視しているジョブの状態がポップアップで表示されます。

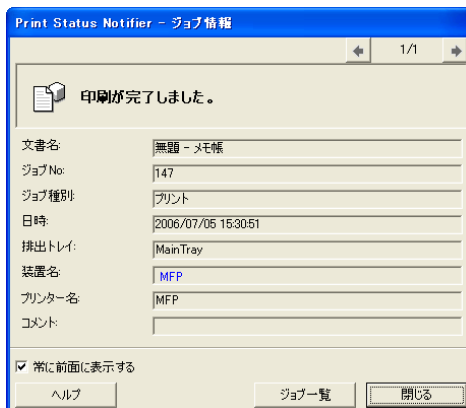
- 通知方法の設定については、「通知方法を設定する」(p. 3-20) をご覧ください。

ポップアップ表示を設定していない場合は、タスクトレイに常駐している Print Status Notifier のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「ジョブ情報」を選択します。

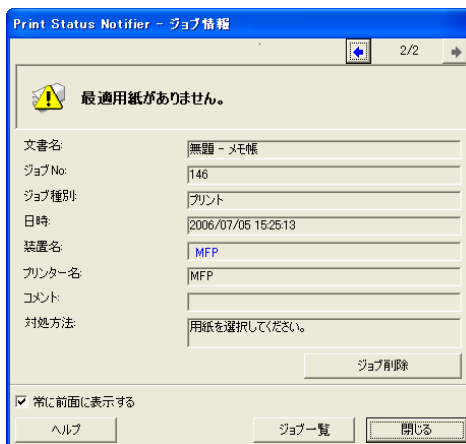


No.	名称	説明
1	メッセージエリア	ジョブの状態を知らせるメッセージとアイコンが表示されます。
	 正常終了	ジョブが正常に終了したときに表示されます。
	 停止	紙づまりなどのエラーが原因で、ジョブが停止したときに表示されます。エラーを処理すると、ジョブが続行されます。
	 異常終了	送信エラーやタイムアウトなどで、ジョブが実行されないで強制終了したときに表示されます。
	メッセージ詳細	ジョブ情報の詳細が表示されます。
2	装置名	装置の名称が表示されます。 リンクが貼られた装置名をクリックすると、装置に内蔵されている Web ページが表示され、装置の詳細情報を確認できます。 → 「Web Connection の表示」 (p. 3-32)
	ジョブ No.	ジョブ No. が表示されます。
	排出トレイ（正常終了時）	排出トレイの名称が表示されます。 送信ジョブの場合は、あて先が表示されます。
	コメント	装置に設定されているコメントが表示されます。
	文書名	処理された文書名が表示されます。
	ジョブ種別	「プリント」や「ファクス」などのジョブの種類が表示されます。
	日時	ジョブの完了などのイベントが発生した日時が表示されます。
3	常に表示する	エラー時の対処方法が表示されます。 → 具体的な対処方法については、装置のユーザズガイドをごらんください。
	常に前面に表示する	チェックを入れると、ジョブ情報画面が常に前面に表示されるようになります。
4	「ヘルプ」ボタン	オンラインヘルプが表示されます。
5	「ジョブ一覧」ボタン	ジョブ一覧が表示されます。 → 「ジョブ一覧を見る」 (p. 3-25)
6	「閉じる」ボタン	ジョブ情報画面が閉じます。
7	複数のジョブ通知画面切替	ジョブ情報画面を表示中に別のジョブ通知がされると、新しいジョブ通知の情報が表示されます。 ボタンをクリックすることで、ジョブ通知画面を切り替えることができます。
	 前のジョブ通知画面	前のジョブ通知画面を表示します。
	現在のジョブ通知画面の順番 / ジョブ通知画面の合計	現在表示されているジョブ通知画面が、何番目の通知画面なのかを確認できます。
	 次のジョブ通知画面	次のジョブ通知画面を表示します。

ジョブが正常に終了したときの画面



ジョブが停止したときの画面



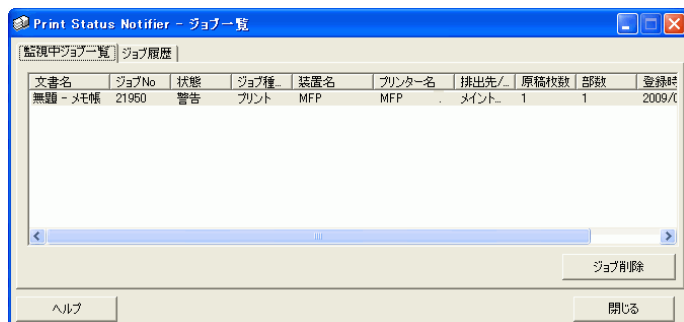
ジョブが異常終了したときの画面



3.6.2 ジョブ一覧を見る

装置から通知されるジョブの一覧は、ジョブ一覧画面で確認できます。

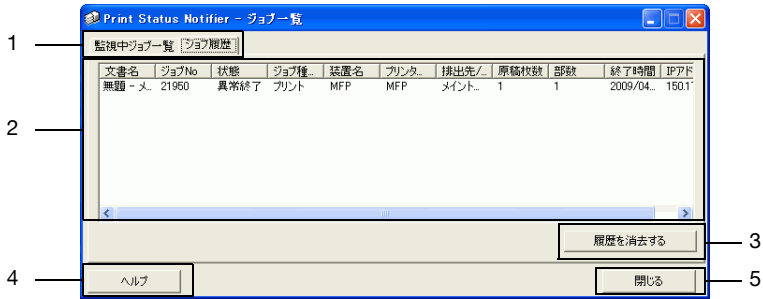
ジョブ一覧画面を表示するには、タスクトレイに常駐している Print Status Notifier のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「ジョブ一覧」を選択します。



ジョブ一覧画面には、「監視中ジョブ一覧」タブと「ジョブ履歴」タブがあります。

「監視中ジョブ一覧」タブでは、現在監視中のジョブを確認できます。

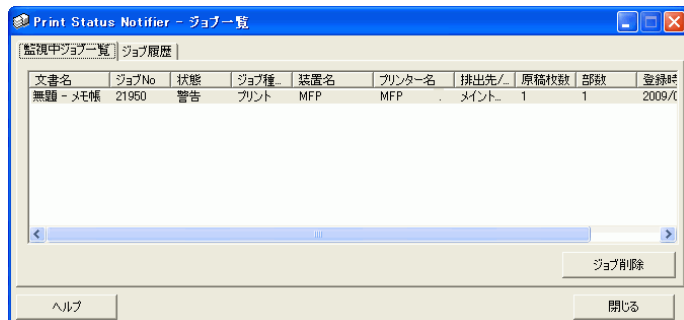
「ジョブ履歴」タブでは、監視対象となったジョブの履歴を確認できます。



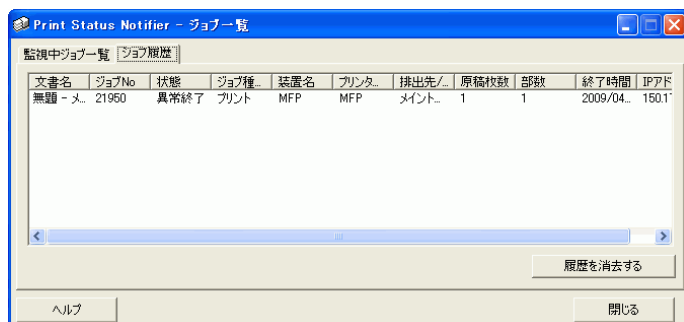
No.	名称	説明
1	タブ	一覧表示の内容を切り替えます。
	監視中ジョブ一覧	現在監視中のジョブが表示されます。
	ジョブ履歴	終了したジョブが表示されます。
2	ジョブ一覧	ジョブの一覧を表示します。
	文書名	処理された文書名が表示されます。
	ジョブ No.	ジョブ No. が表示されます。
	状態	ジョブの状態が表示されます。
	ジョブ種別	「プリント」や「ファクス」などのジョブの種類が表示されます。
	装置名	ジョブを実行している装置の名前が表示されます。
	プリンター名	OS に登録されている、装置のプリンター名が表示されます。
	排出先 / あて先	排出トレイの名称が表示されます。 送信ジョブの場合は、宛先が表示されます。
	原稿枚数	原稿の枚数が表示されます。
	部数	印刷部数が表示されます。
	登録時間（監視中ジョブ一覧）	ジョブが監視対象として登録された時間が表示されます。
	終了時間（ジョブ履歴）	ジョブが終了した時間が表示されます。
	IP アドレス / ホスト名	装置の IP アドレスまたはホスト名が表示されます。
3	削除ボタン	ジョブまたはジョブ履歴を削除します。
	〔ジョブ削除〕ボタン（監視中ジョブ一覧）	一覧で選択されているジョブを削除します。 ジョブ削除機能をサポートしている装置で実行したジョブのみ削除できます。
	〔履歴を消去する〕ボタン（ジョブ履歴）	一覧から履歴を全て削除します。
4	〔ヘルプ〕ボタン	オンラインヘルプが表示されます。

No.	名称	説明
5	「閉じる」ボタン	ジョブ一覧画面が閉じます。

監視中ジョブ一覧タブ



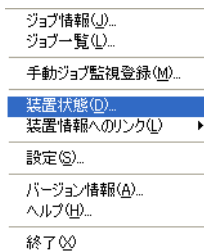
ジョブ履歴タブ



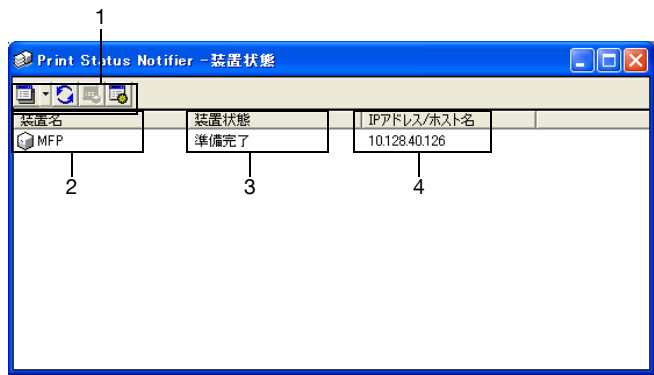
3.7 装置状態の確認

装置の状態は、装置状態画面で確認できます。

タスクトレイに常駐している Print Status Notifier のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「装置状態」を選択します。



装置状態画面が表示されます。



No.	名称	説明
1	ツールバー	 [表示] ボタン クリックするたび、「アイコン表示」⇔「詳細表示」と、表示が切換わります。 ボタン横の [▼] をクリックして表示されるメニューでも、表示を切換えることができます。現在表示されている表示方法に黒丸が付きます。
		 [更新] ボタン クリックすると、最新の装置の状態に更新されます。
		 [Web Connection] ボタン 装置を選択して、ボタンをクリックすると、装置に内蔵されている Web ページが表示され、装置の詳細情報を確認できます。 装置が何も選択されていない場合は、ボタンがグレーアウト表示になり、クリックできません。
		 [設定] ボタン 設定画面が表示されます。
2	装置名	装置の名称と、装置の状態を表すアイコンが表示されます。 監視の対象となっている装置だけが表示されます。アイコンをダブルクリックすると、装置に内蔵されている Web ページが表示され、装置の詳細情報を確認できます。 → 「Web Connection の表示」 (p. 3-32)
3	装置状態	装置の状態が表示されます。
4	IP アドレス/ホスト名	装置の IP アドレスまたはホスト名が表示されます。

3.8 手動でのジョブ情報の確認

装置側でユーザー認証が OFF に設定されている場合、本体ジョブを監視するには、監視するジョブを手動で登録して、監視を開始します。

手動でのジョブ情報の確認は、「装置で実行したジョブの監視」をサポートする装置でのみ可能です。



ご注意

手動でジョブの監視を開始するには、装置のオペレーションパネルに表示されるジョブ No. が必要となります。ジョブの実行を指示したあとにオペレーションパネルに表示されるジョブ No. を、メモなどに書留めておいてください。

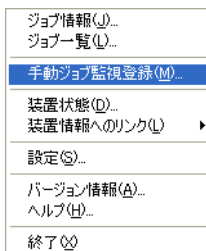
3.8.1 監視を開始する

手動でのジョブ監視を開始するには、以下の手順にしたがってください。

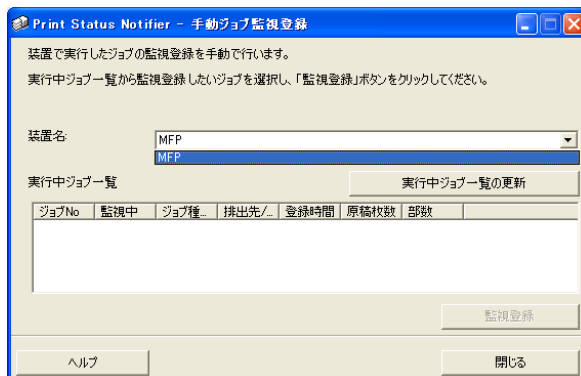
操作手順

- 1 タスクトレイに常駐している Print Status Notifier のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「**手動ジョブ監視登録**」を選択します。

手動ジョブ監視登録画面が表示されます。

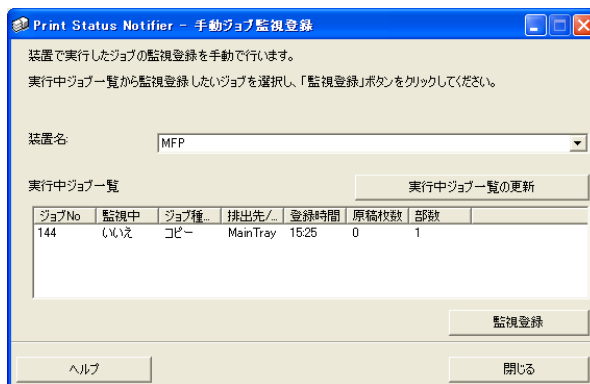


2 [▼] をクリックして、ジョブを監視する装置を選択します。



- 装置で実行したジョブを監視の対象にしている装置だけが表示されます。

3 「実行中ジョブ一覧」から監視したいジョブを選択します。



- 装置のオペレーションパネルに表示されていたジョブ No. のジョブを選択します。
- [実行中ジョブ一覧の更新] ボタンをクリックすると、選択した装置で実行されているジョブが「実行中ジョブ一覧」に一覧表示されます。

4 [監視登録] ボタンをクリックします。 ジョブの監視が開始し、ジョブ情報が通知されます。

これで、手動でのジョブ監視の設定が完了しました。ジョブの監視が開始されます。

3.9 Web Connection の表示

Print Status Notifier では、Web Connection という、装置に内蔵されている Web ページを表示させて、装置の詳細情報を確認できます。



ご注意

Web Connection の表示は、装置に設定された IP アドレス情報を使用します。アドレスが異なる場合は、正しく表示されません。

表示方法は、以下の 3 つの方法があります。

メニューで登録装置名をクリックする

タスクトレイに常駐している Print Status Notifier のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「装置情報へのリンク」を選択すると、登録されている装置の名称が表示されます。Web Connection を表示したい装置の名称を選択してクリックします。



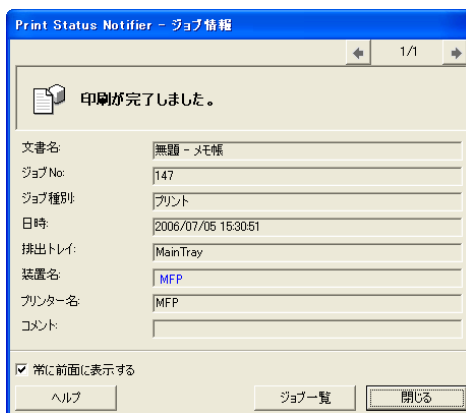
ジョブ情報画面で装置名をクリックする

ジョブ情報の通知方法をポップアップ表示に設定している場合は、監視している装置の状態がポップアップで表示されます。

- 通知方法の設定については、「通知方法を設定する」(p. 3-20) をご覧ください。

ポップアップ表示を設定していない場合は、タスクトレイに常駐している Print Status Notifier のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「ジョブ情報」を選択して、ジョブ情報画面を表示します。

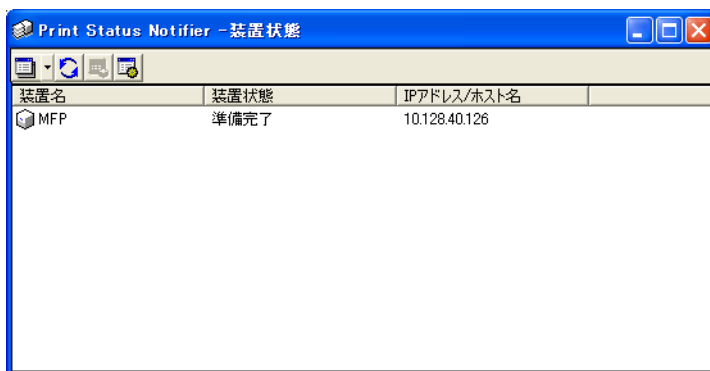
ジョブ情報画面で、装置名をクリックします。



装置状態画面で装置をクリックする

タスクトレイに常駐している Print Status Notifier のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「装置状態」を選択すると、装置状態画面が表示されます。

装置状態画面で、装置を選択してツールバーの [Web Connection] ボタン（）をクリック、または装置の状態を表すアイコン（ など）をダブルクリックします。



4 こんなときは

ここでは、Print Status Notifier 使用時に発生することが想定される問題と、その対処方法について説明します。

問題	考えられる原因	対処方法
ジョブ情報が通知されない。	ジョブ情報を確認したい装置が、監視の対象になっていない。	ジョブ情報を確認したい装置を、装置リストに追加してください。 → 「監視装置の登録」(p. 3-11)
	Print Status Notifier が起動していない。	Print Status Notifier を起動してください。 → 「起動と終了」(p. 3-1)
監視装置の登録ウィザードに、監視したいプリンターが表示されない。	Print Status Notifier がサポートするプリンタードライバーがインストールされていない。	Print Status Notifier がサポートするプリンタードライバーをインストールしてください。
	監視したいプリンターのポート設定で、TCP/IP ポート以外のポートが指定されている。	プリンターのポート設定を TCP/IP ポートに変更してください。ポートの設定については、装置の管理者へ確認してください。
装置への接続エラーが表示される	コンピューターおよび装置がネットワークに接続されていない。	コンピューターおよび装置をネットワークに接続してください。
	ジョブ情報を確認したい装置の IP アドレスまたはホスト名を間違えて設定している。	ジョブ情報を確認したい装置の IP アドレスまたはホスト名が間違えてないか確認してください。 → 「登録済み装置の詳細画面」(p. 3-9)
	装置の OpenAPI、もしくは SNMP Ver1 が無効になっている。	装置の管理者へ確認してください。
	装置がサポート対象ではない。	監視したい装置がサポート対象かどうか確認してください。
ジョブ監視の途中で Print Status Notifier を終了してしまった。	監視中のジョブがある状態で Print Status Notifier を終了しても、Print Status Notifier 再起動時には、中断していたジョブの監視が自動で再開されます。	

